**オロロジカル･マシンNo.3フロッグ**

MB&Fが新たにオロロジカル･マシンNo.3フロッグを発表する。高級腕時計の世界は（通常は）非常に控えめで厳格なビジネスだが、MB&Fの設立においてマキシミリアン･ブッサーが目指したのは、高級時計製作に子供のような感動と遊び心を取り入れることだった。HM3シリーズでMB&Fがその目的以上のことを成し遂げたのは確かだ。

実際の両生類のカエルの突き出た目は、頭を動かすことなくさまざまな方向のものを見ることを可能にしているが、時間と分を表示するHM3の球状のドームも同様の効果を生み出している。この時計の場合は、つけた人物が手首を返さずにどの角度からでも時間を見ることができるように作られているのだ。

このサイズと形のドームを回転させる上で、MB&Fは数多くの技術的問題に直面した。時表示と分表示のドームは、理想的な強度重量比を持つアルミニウムの塊を加工してつくられた。ドームの重量はわずか0.5グラム強。0.28mmという紙のような薄さになるまで初めは外側から、そして内側から削り、必要とするエネルギーを最小限に抑えた。

半球状のサファイアクリスタルドームの製作も困難を極めた。この技術が可能になったのは、ようやく最近のことだ。サファイアに少しでも欠陥があれば、文字がきれいに拡大表示されないため、サファイアは完璧なまでに均一に形作り、磨かなければならなかった。

遊び心あふれるかたちで時間を示すフロッグだが、ジャン＝マルク･ヴィダーレヒト設計によるハイチューンエンジンの細かな手仕上げには、細部にわたって厳格かつ細心の注意が払われた。ケースを注意深く見ると、ドームの周囲に刻まれた数字の8にディスプレイ背面が映り、二重のセラミックベアリングが露わになったり、特徴的なクローバーの形をしたスクリューがあしらわれていたり、読みやすい日付表示を指し示す矢印が控えめに刻まれていたりと、慎重に考え抜かれたディテールが見て取れる。

**HM3フロッグTiは**22 KブルーゴールドPVD バトル･アックス型巻き上げローターを備えたグレード5チタンケース。

**HM3ポイズン･ダート･フロッグは**The Hour Glassのためだけに制作された10個の限定品で、ブラックPVDコーティングを施したジルコニウムケースに22Kゴールドローターと18Kイエローゴールドスクリューの仕様。

**HM3ファイアー･フロッグは**HM3ファイアー･フロッグは10個の限定品で、18Kレッドゴールドおよびチタンケースに22Kゴールドローターと18Kイエローゴールドスクリューの仕様。

**HM3 フロッグ：結論に飛びつくな**

**オロロジカル･マシンNo.3フロッグ　技術仕様**

**ムーブメント：**

アジェノー社のジャン＝マルク･ヴィダーレヒト設計による3次元オロロジカルエンジン

ソーウィンド（Sowind）社製ベース

28,800bphでのバランス発振

22金レッドゴールドバトル･アックス型「ミステリー」自動巻きローター

HM3フロッグTi ：22 KゴールドにブルーのPVDコーティング

HM3ポイズン･ダート･フロッグ：22Kゴールド

HM3ファイアー･フロッグ：22Kゴールド

時分情報はセラミックボールベアリング経由で回転ドームへと伝わる。

石数：36（すべて機能上のもの）

部品数：304

**機能：**

一方のドームには時表示（12時間で１回転するアルミニウムドーム）

もう一方のドームには分表示（60分で１回転するアルミニウムドーム）

ムーブメントの周囲に日付表示

**ケース：**

HM3フロッグTi：グレード5チタンケースおよびスクリュー

HM3ポイズン･ダート･フロッグ：ブラックPVDコーティングを施したジルコニウムケース、18Kイエローゴールドスクリュー、10個の限定生産。

HM3 ファイアー･フロッグ：18Kレッドゴールドおよびチタンケース、18Kレッドゴールドスクリュー、10個の限定生産

スクリューダウン式竜頭

寸法（竜頭および突起部分を除く）：47mm x 50mm x 18mm

ケース部品数：53

**サファイアクリスタル：**

ドームと両方のディスプレイ背面には両面反射防止加工

**文字盤：**

回転式アルミニウムドーム、0.58g、固定針

**ストラップおよび留め金：**

18Kゴールドをあしらった黒の手縫いのワニ革製ストラップおよびカスタムデザインのチタン製デベロップメントバックル

**オロロジカル･マシンNo.3を創った「フレンズ」たち**

*コンセプト：*マキシミリアン･ブッサー／MB&F

*製品デザイン：*エリック･ジルー／エリック･ジルー･デザイン･スタジオ

*技術･製造管理：*セルジュ･クリクノフ／MB&F

*研究･開発：* ギヨーム･テヴナン／ MB&F

*ムーブメント開発：*ジャン＝マルク･ヴィダーレヒト／アジェノー、

ニコラス･シュタルダー／アジェノー

*ムーブメントベース：*ラファエル･アッカーマン、スティーブ･ストゥーチオ、

ステファノ･マカルーソ／ソーウィンド（Sowind）

*ムーブメント製造：*ジョルジュ･オウアー／メカウオッチ、

サルヴァトーレ･フェラロット／APR Quality

*ムーブメント部品手仕上げ：*ジャック･アドリアン／CLロシャ

デニス･ガルシア／CLロシャ

*セラミックボールベアリング：*パトリス･パリエッティ／MPS

*ムーブメント組み立て:*ディディエ･デュマス、ジョルジュ･べジー、アレクサンドル･ボネ、

ベルトラン･サゴラン＝ケロール／MB&F

*ケース、留め金の構成および製造*： ドミニク･メニエ、

ベルトラン･ジュネ／G.Fシャトゥラン

*サファイアパーツ*： マルティン･ステットラー／ステットラー･サファイア

*文字盤：*フランソワ･ベルンハルト、デニス･パレル／ネイトバー

*ベルト:*オリビエ･プルノ／カミーユ･フルネ

*化粧箱：*フレデリック･ルジャンドル／レコーニ、イザベル･ヴォドー／ヴォドー

*製造ロジスティクス*：　デービッド･ラミー／MB&F

*コミュニケーション：*

MB&F：シャリス･ヤディギャログル、パトリシア･デュヴィラール、

エレノア･ピッチオット、エルヴェ･エスティアン

グラフィック･デザイン：ジェラルド･ムリエール、

アンソニー･フランクリン／GVAスタジオ

製品撮影：　マーテン･ファン･デル･エンデ

「フレンズ」撮影：　レジス･ゴレ／Federal

ウェブ開発：　ステファン･バレ、ギヨーム･シュミッツ／スモー･インタラクティブ

テキスト：　イアン･スケレーン

**MB&F　―　コンセプト･ラボの起源**

時計のトップブランドをマネージメントした15年間、マキシミリアン･ブッサーに最高の喜びと達成感を与えてくれたプロジェクトは、才能溢れる独立時計師との共同作業であった。その中ではっきりと見えてきたブッサーの独自の理想郷。それは自身が尊敬し、仕事を共にして楽しかった才能あるプロフェッショナル達と型破りなコンセプトを持つ小規模な腕時計シリーズの設計･制作に専念できる会社の設立であった。企業家としての一面も持つブッサーはその理想郷を現実のものとした。

MB&Fは腕時計のブランドではなく、マイクロ･エンジニアリングをコンセプトにした芸術的な研究所であり、斬新なオロロジカル･マシーンを設計･制作するために毎年召集される独立した時計のプロ集団である。伝統を重んじながらもそれに縛られることのないMB&Fは、伝統的で高品質な時計作りに最先端技術やアバンギャルドな立体彫刻を融合させる媒体となっている。

MB&Fの初のタイムピース HM1 （オロロジカル･マシーンNo.1）は 2007年に送り出され、三次元構造の時計というコンセプトが世に出された。これに続いた2008年のHM2、2009年のHM3はどちらもSF作品から着想を得ていた。2010年にはHM4サンダーボルトを迎え、多くの人がこれまでのMB&F'で最も斬新なマシーンであるとした。

2011年、レガシーマシーンNo.1は伝統にインスパイアされた新たなラインとして華々しく登場した。

独立した人たちのために創作する独立した集団。それがMB&Fである。

**マキシミリアン･ブッサー　―　経歴**

イタリアのミラノで生まれたマキシミリアン･ブッサーは、その後、間もなくしてスイスのローザンヌへ移り住み、そこで青年時代を過ごす。多文化な環境と家族の中で育ったため―父親はスイスの外交官で、インド国籍の彼の母親とボンベイで出会っている―ブッサーは自身の人生とビジネスに対し異文化的な幅広いアプローチを取るようになった。

2005年7月、38歳の時に世界初となる時計のコンセプトブランド、MB&F（マキシミリアン･ブッサー＆フレンズ）を設立。設立当初は自身が唯一の株主であったが、現在はセルゲ･クリクノフをパートナーに迎えている。気の合う仲間で構成された少数のハイパークリエイティブなグループで協力し、型破りな時計のコンセプトの開発に専念できる自身のブランド。それが、ブッサーがMB&Fに抱く夢である。MB&Fは2006年に最初の時計、オロロジカル･マシーンNo.1（HM1）を発表して以来、2007年にはHM2、そして2008年にはHM3を発表しており、現在もより型破りな「マシーン」を開発中である。

企業活動はマキシミリアン･ブッサーの得意分野である。1998年、彼は弱冠31歳でジュネーブにあるハリー･ウィンストン レア･タイムピース社のマネージング･ディレクターに任命された。７年間の任期中、戦略、製品、マーケティング、そして世界規模の流通を開拓すると同時に、デザイン、研究開発、製造を社内で統合し、ハリー･ウィンストンを広く認められた

本格的な高級時計ブランドへと成長させた。その結果、売り上げは900％増加し、ハリー･ウィンストンは競争が厳しいこの業界のリーダーの一員となった。

マキシミリアン･ブッサーの最高級時計への愛着は、彼の最初の職場となるジャガー･ルクルト（JLC）で確立された。1990年代に彼がシニア･マネージメント･チームに在籍し、製品管理･開発からヨーロッパ地域の販売及びマーケティングに至るまでを担当していた7年間で、JLCはその地位を大きく向上させ、売り上げを10倍に伸ばした。

ブッサーは1991年にスイス連邦工科大学ローザンヌ校のマイクロ･テクノロジー･エンジニアリングの修士課程を卒業している。